

福安教案における中国人キリスト教徒の 尋問と供述の言葉

奥村 佳代子

The Words Used in Interrogations of Chinese Christians
and Their Confessions in *Fuan-jiao'an*

OKUMURA Kayoko

Fuan-jiao'an is an archival material about Christian events in the middle of the 18th century, which is now kept by AMEP. There are a lot of interrogations and confessions in this material. From the perspective of oral language research and written language research, it can be said that this is a noteworthy research material. This paper makes a preliminary arrangement of its language and suggests a simple view and research direction.

Keywords: *Fuan-jiao'an*, Christianity, interrogation, Confession, 18th century

キーワード：福安教案、キリスト教、尋問、供述、18世紀

一 尋問された人々

乾隆11年（1746）の福安で、スペインドミニコ会の宣教師と信者が逮捕された。逮捕後の取調べ文書はAMEP (Archivum des Missions Étrangères de Paris) に保管されている。この取調べ文書は、漢語による尋問と供述で構成される部分も含まれており、当事者自身の視点から事情や経緯が語られているという点だけでなく、その言葉そのものが話し言葉らしく記述された言葉として、口語体研究の対象となる。本論では、福安で取調べを受けた中国人キリスト教徒に対する尋問と供述の言葉を整理し、尋問のパターン、尋問に用いられている語彙を整理する¹⁾。本資料の整理の範囲内で気づいたことをまとめ、次の段階へと進むための覚書としたい。

1) 拙論「キリスト教案における尋問と供述の言葉」(沈国威・奥村佳代子編『文化交渉と言語接触』(2021年、東方書店)所収)にて、スペイン人宣教師の供述だけを整理したので、ここでは中国人に対する尋問と供述について整理する。

本論で使用するテキストは、呉旻、韓琦編2008《欧洲所藏雍正乾隆朝天主教文献汇编》所収の福安資料「二十九 福安周县官初审问供（乾隆十一年，1746）」及び「三十三 福建漳州府浦县袁本濂、邵武府建宁县王文昭会审福安天主教案招册（乾隆十一年，1746）」である。

ここに登場する供述者の自称には複数のパターンがあり、それぞれの立場によって用いられる自称も異なっている。

両文書に記録されている中国人の供述で用いられている自称は、表1に示すように、まず男性としての自称と女性としての自称に大別でき、男性の自称については5種類の自称が使い分けられている。

表1 供述で用いられている自称

自称	番号	使用者
“小的”	29	(监生) 陈廷柱・范龙仔(佣工的)・陈上琳・夏鹿生・刘荣水・郭惠人 繆若浩 繆兆士・王恩・刘光
	33	刘荣水・王恩・刘光・繆尚昭・繆高卿・郭人即郭仁・繆上禹・繆允喆・陈墨仔・繆允义・郭近人・陈从辉 ²⁾ ・王鸚荐・郭惠人
“犯生 ³⁾ ”	29	陈桧(武生)・陈樞(生员)・郭应元(生员)・郭应魁(生员)
“革生”	33	陈紬即陈文龙・陈喟然・陈樞(你如今把你武生详革了)・陈桧(如今把你武生详革了)
“革监”	33	陈廷柱(你是监生)・陈运(你是监生)
“小妇人”	29	繆喜使・繆诗使・陈富使・林结使・陈真使・陈催使・郭全
	33	繆喜使・陈富使・郭全・郭洒使・繆振使・郭晓使

* 番号欄は、本資料の文書の番号である。

* 同じ氏名は同じ人物である。

* () 内は、その人物の立場を示す、本人のせりふ又は尋問者のせりふである。

彼ら中国人被疑者に対する尋問内容は完全に一致しているわけではなく、個々の状況に応じて質問がなされていることから、同じ事柄をそれぞれどのような言葉を用いて尋問しているかを、全て対応させて示すことはできないが、尋問のパターンや語彙の実態を明示するための基礎作業として、まず尋問に用いられている①人称代詞、②指示代詞、③疑問詞、④介詞、⑤否定副詞、⑥文末助詞の語彙を、次に供述で用いられている語彙を整理したうえで、何度も繰り返される尋問内容を取り上げ、尋問の仕方(形式)と語彙の使用状況、それに対する供述の有様を見たい。

二 尋問に用いられている語彙

「二十九 福安周县官初审问供（乾隆十一年，1746）」の尋問で用いられている語彙は以下のとおりである。

- 2) “陈从辉”に対する尋問は「三十一 福建福州府侯官闽县长乐县会审福安天主教案稟文（乾隆十一年，1746）」にもあり、自称には“小的”が用いられている。「三十一」に収められている中国人の供述は“陈从辉”のものだけであるので、この表には含めていない。
- 3) “犯生们”という複数形も用いられている。

①人称代詞

你 你们 他

②指示代詞

这 那 这里 那里

③疑問詞（不定の用法も含む）

那 什么 甚 那里 多少 几 怎么 怎样 谁 谁人

④介詞

替 对 在 为

⑤副詞

否定：不 没（動詞“有”の否定詞として）

⑥文末助詞

么 呢 了

⑦疑問文の形式

- i. 疑問詞を用いる。
- ii. 文末助詞“么”を用いる⁴⁾。
- iii. 疑問詞と文末助詞“呢”を用いる。
- iv. 選択疑問文は“还是”を用いない。“是轿去是步行去呢”と“是～是～呢”の形である。
- v. 文末に“没有”“没有呢”を用いる。“你出嫁没有”“你出嫁没有呢”など。

「三十三 福建漳州府浦县袁本濂、邵武府建宁县王文昭会审福安天主教案招册（乾隆十一年，1746）」の尋問で用いられている語彙は以下のとおりである。

①人称代詞

你 他 你们 他们

複数形は“～们”の形である。“～们”はまた人名の後に置き、誰々らという意味でも用いられている。“西洋人德黄正国们”“童贞女郭全们”“那西洋人白多禄们”など。

②指示代詞

这 那 这里 这个 这样 故此

指示代詞は基本的に“这”“那”が用いられており、“此”は“故此”でのみ用いられている。

③疑問詞（不定の用法も含む）

什么 甚么 那个 那里 多少 几时 怎 怎样 怎么 为什么 为何

「なに」は基本的には“什么”が用いられているが、それぞれ1箇所でのみ“甚么”“为何”と記されている。

④介詞

替 与 在 和

4) この場合、疑問を表すのは“么”のみであり、疑問詞と併用されていない。

普通話の“给”に当たる介詞は基本的には“替”が用いられているが、“与”が“又与侄子郭惠人买过刘荣水三间房子”のように用いられている。また、“和”の用例は“你和王鹦荐什么称呼”である。

⑤副詞

否定：不 没（有的否定）没有 无（疑問文で）

“无”は“有无～”の形で疑問文を作るのに用いられている。

⑥文末助詞

了 呢 么

諸否疑問文には“么”が用いられ、“呢”は疑問詞と組み合わせて用いられている。

⑦疑問文の形式

- i. 疑問詞を用いる
- ii. 文末助詞“么”を用いる⁵⁾。
- iii. 疑問詞と文末助詞“呢”を用いる。
- iv. 選択疑問文は“还有”を用いる。

“到底他贪的是女色，还有别的图谋呢”“实在贪的是女色，还有别的什么图谋呢”のように、“还”を用いることによって選択疑問文のような疑問文になっていると言える。

- v. 文末に“没有”“没有呢”を用いる。

“有父母兄弟妻子没有”“家里有父母兄弟妻子没有呢”など。

- vi. “有无”を用いる。用例は一例のみである。“有无父母兄弟妻子”。

- vii. 文末に“不是”を用いる。“这陈廷柱是一家不是”。

「二十九」の尋問は一つひとつが短く、質問事項も少ない。「三十三」は尋問の内容が多くなりそれに比例して文言も長い。そのことが、両者の使用語彙にも影響を与えている可能性があるとはいえ、調査対象とした意味を表す語の使用は限定的であり固定的であり、同じ意味を持つ別の語を多種多様に用いてはいない。決まった語が繰り返し用いられているといえるだろう。

三 供述に用いられている言葉

表1で女性の自称はすべて“小妇人”が、男性の自称には“小的”“犯生”“革生”“革監”の4種類が用いられていることを確認したが、ここでは「二十九」と「三十三」とに分け、尋問同様にそれぞれの語彙を整理したい⁶⁾。

「二十九 福安周县官初审问供（乾隆十一年，1746）」の供述で用いられている語彙は以下のとおりで

5) この場合、疑問を表すのは“么”のみであり、疑問詞と併用されていない。

6) 「二十九」と「三十三」では男性の自称に違いが見られるが、その理由が審問の時期や段階、また審問に当たった中国側の立場や個人の違いが影響しているのかについては、さらに多くの個々の記録の語彙を整理した上で考えたい。

ある。

①人称代詞

他

供述で用いられている人称代詞は“他”のみである。供述者は自らを表1にまとめた自称で呼び表していることから、第一人称単数形は用いられていない。

②指示代詞

这 那 那里

③疑問詞

谁（不定として）

④介詞

从 到 为

全“小的全父亲在溪东读书的”

同“他也同小的到穆洋”

向“向那西洋人说”

⑤副詞

不 没

⑥語気助詞

了

「三十三 福建漳州府浦县袁本濂、邵武府建宁县王文昭会审福安天主教案招册（乾隆十一年，1746）」の供述で用いられている語彙は以下のとおりである。

①人称代詞

他 他们

供述で用いられている人称代詞は“他”と“他们”のみである。供述者は自らを表1にまとめた自称で呼び表していることから、第一人称単数形は用いられていない。

②指示代詞

这 那 那里 故此

③疑問詞

谁（不定として）

④介詞

替 从 到 为

全“小的全父亲在溪东读书的”

同“他也同小的到穆洋”

和“因是雍正八年间，德黄正国来替已故族人陈福寅医治病症，小的才和他熟识”

跟“那雍正年间小的也有跟冯圣行同去一次的”

向“向那西洋人说”

普通話の“给”に当たる介詞は基本的には“替”が用いられている⁷⁾。

⑤副詞

不 没有

很 “小的又见那里从教的很多”

「三十三」では程度を表す副詞“很”が1箇所のみではあるが、使用されている⁸⁾。

⑥語気助詞

了

「三十三」の供述では、対象となる人を導く介詞の語彙が豊富に用いられているといえるだろう。代詞や文末助詞は尋問以上に語彙が少ない。また、疑問詞の使用が少ないのは尋問に対する回答であることから当然の結果ではある。

四 繰り返される尋問の語彙と供述の語彙

ごく簡単で普遍的な事柄として、年齢、入信時期・信仰年数、名前、住んでいる場所について、供述者ごとにそれぞれどのように尋問と供述が記録されているのかを次に示す。

「二十九」

尋問を受けている人物の名前を“”で示し、尋問(“?”で終わっている文)に続けて供述(“。”で終わっている文)を提示する。

①年齢

“监生陈廷柱”：你今年多少年纪？今年四十岁。

“繆喜使”：你儿子今年多少岁？小妇人儿子今年十六岁了。

“郭晓”：你今年多少岁？今年二十五岁。

“郭全”：你今年多少岁？今年五十九岁。

“繆兆士”：你今年多少岁？小的今年十八岁。

“王恩”：你今年多少岁？小的十八岁了。

“刘光”：你今年多少岁？小的今年二十一岁。

年齢を尋ねる場合は“多少岁”がよく用いられており、“多少年纪”を用いた例もひとつあるが、この言い方にした理由は不明である。

②入信した時期、信仰の年数

7) 「三十三」の尋問では介詞として“与”が用いられているが、「二十九」と「三十三」の供述には「動詞+“与”」という形で用いられている。

8) 「三十一」の“陈从辉”に対する尋問にも“很”が1箇所で用いられている。

“监生陈廷柱”：你把那一年从西洋人的教道供来？ 小的父亲手上从这教，小的年少不晓得这西洋人，到小的手没有从的。

“陈上琳”：你是那一年从教的呢？ 这是小的三代从这教下来了。

“陈桧”：你从教多少年了？ 犯生三四代从这教的了。

“生员陈樞”：你从教多少年了？ 犯生五岁是父亲就叫犯生从教了。

“生员郭应元郭应魁”：你们从教多少年了？ 都没有从教的。

“繆诗使”：你从教多少年了？ 小妇人丈夫祖上就从教来了。

“陈富使”：你从教多少年了？ 小妇人五岁就从教，守童身的。

“陈德使”：你是那一年从教？ 是从小从教的。

“陈真使”：你是那一年从教？ 是从小从教，不出嫁的。

“陈清使”：你是那一年从教呢？ 是从小父亲从下来的。

“陈催使陈旦使陈晒使”：你们是那一年从教？ 小妇人姊妹四人自小父亲从下来。

“郭晓”：你从教多少年了？ 是自幼就从教了。

“郭全”：从教多少年了？ 小妇人自小就从教了。

“刘荣水”：你从教多少年？ 小的三代就从下来了。

“郭惠人”：你从教多少年了？ 小的自祖公手上从下来的。

“繆兆士”：你从教几年了？ 小的祖上从教下来的。

“王恩”：你从教多少年了？ 是自祖公手上从下来的。

“刘光”：你从教多少年了？ 是自祖公手上从下来的。

「いつ入信したか」という表現と「入信して何年になるか」という表現の2種類が用いられており、それぞれでほぼ固定された言い方である。

③名前

“监生陈廷柱”：这陈廷柱是你监生名，你就叫做陈球么？ 小的名叫陈经，不叫陈球的。

“夏鹿生”：你父亲名叫什么？ 小的父亲夏鸣雪，小的全父亲在溪东读书的。

“陈清使”：你父亲名叫做什么？ 父亲名叫陈耿，如今死了。

“刘荣水”：你实叫做什么名字？ 小的叫做刘荣水的。

名前は4人に対する尋問で質問事項となっているが、すべて異なる言い方である。

④どこの者か、居住地

“繆喜使”：这陈喟然在那里住？ 他小妇人同村住的。

“夏鹿生”：你是那里人？ 小的是邵武府建宁县人。

“生员郭应元郭应魁”：你是那里人？ 犯生是岩湖住居的。

“王恩”：你住在那里呢？ 小的在卓家坂住的。

“刘光”：你是那里住？是城内莲池头住的。

出身、居住地を尋ねる言い方も、すべて異なる言い方である。“那里人”は普通話では出身を尋ねる場合に用いるが、それに対して“小的是邵武府建宁县人”と出身を答えているとも取ることのできる回答と、“犯生是岩湖住居的”と現在の居住地を回答しているものがある。

⑤どこの者か、居住地+年齢

“刘荣水”：你是那里人？今年多少岁了？小的是本县人，今年三十五岁了。

⑥年齢+信仰年数

“繆若浩”：你今年多少岁？从教多少年了？小的今年二十二岁，是祖公手上从教下来的。

「二十九」ではひとつひとつの事項として、質問がなされ、それに対する回答があり、次の事項にすすむ形式で記録されているが、「三十三」では質問事項は同じであっても、一つひとつ分けて質問しているのではなく、一回の発言として複数の質問事項が発せられている。以下に、各供述者への最初の尋問部分を提示する。先に取り上げた、年齢、入信時期・信仰年数、名前、住んでいる場所についての質問には下線（実線）を引いて示す。波線部については、後で触れる。

「三十三」

“郭近人”：你今年多少岁了？住在那里？有父母兄弟妻子没有？教名叫做什么？是几时窝留西洋人华敬在家设堂行教？怎样又替他招集多人来从教领洗呢？

“陈从辉”：你今年多少岁？在那里居住？教名叫什么？家里有父母兄弟妻子没有呢？

“王鹦荐”：你今年多少岁？在那里居住？教名叫甚么？有父母兄弟妻子没有？你窝的西洋人费若用，是那一年来的？你怎样替他招集？有多少人？一一供来。

“郭惠人”：你今年多少岁？是那里人？有无父母兄弟妻子？你是那一年窝留这西洋人白多禄在家，设堂行这天主邪教呢？

“陈紬即陈文龙”：你今年多少岁了？在那里居住？有几个女儿？是那一年窝留西洋人费若用在家？你又怎样替他招集多人从他邪教呢？

“繆喜使”：你今年多少岁？丈夫那里去了？生过几个儿子？这陈廷柱是你什么人？你是妇人家，怎么窝着西洋人德黄正国在你家里行这天主邪教呢？

“陈廷柱”：你今年多少岁？可有父母兄弟妻子没有？怎样窝留西洋人德黄正国们在家里行那天主邪教？如今你监生详革了，快照实供来。

“陈运”：你今年多少岁？生有几个儿女？这陈廷柱、陈桧、陈樞是你什么人？你是监生，该读书明理，怎么反违禁，窝留西洋人行这天主邪教？如今把你监生详革了，快逐一据实供来。

“陈喟然”：你今年多少年纪了？在什么地方居住？有几个儿子？这陈廷柱是一家不是？他在福安县供你是天主教窝主，可是实的么？

“陈樞”：你今年多少岁？可有父母兄弟妻子没有？这陈廷柱是你什么人？ 你有从这西洋人邪教么？如今把你武生详革了，可把这情由老实供来。

“陈桧”：你今年多少岁？可有父母兄弟妻子没有？陈廷柱是你什么人？ 你从的什么人的邪教？教名是什么？如今把你武生详革了，可把实情供来。

“刘荣水”：你是那里人？今年多少年纪？可有父母兄弟妻子没有？ 你怎样窝留这西洋人白多禄在家行这天主邪教呢？

“刘光”：你在那里住？今年多少岁？可有父母兄弟妻子没有？这刘荣水是什么人？ 你在那个西洋人那里从教领洗？教名叫做什么呢？

“繆尚昭”：你今年多少岁？在那里居住？可有父母兄弟妻子没有？ 从的那个人的教？教名叫做什么呢？

“繆高卿”：你今年多少岁？住在那里？ 从过那个西洋人的邪教？教名叫做什么呢？

“王恩”：你今年多少岁？在那里居住？可有父母兄弟妻子没有？你和王鸞荐什么称呼？ 从的那个西洋人的邪教？教名叫什么呢？

“郭全”：你今年多少岁？丈夫叫做什么名字？这郭惠人是你什么人呢？

“陈富使、郭洒使、繆振使、郭晓使”：你们个有多少岁？教名叫什么？ 为什么日夜去伺候这西洋人呢？

“郭人即郭仁”：你今年多少岁？在那里居住？可有父母兄弟妻子没有？ 从的是那一个的邪教？教名叫什么呢？

“繆上禹、繆允喆、陈墨仔、繆允义”：你们今年各多少年纪？那西洋人白多禄们每年是几时雇你们？从那一路到什么地方？向那个人取多少银两？回来还带有什么东西没有呢？⁹⁾

下線で示したように、「二十九」ではひとつひとつ聞いていることが、「三十三」では一気に質問している場合がある。また、親や兄弟の有無、または血縁関係について、「三十三」では上の波線部で示すように他の質問事項と一緒に発せられている形になっているが、「二十九」では、独立した尋問と供述として記録されている。

“陈富使”：你从教多少年了？小妇人五岁就从教，守童身的。

你兄弟是谁？ 是陈从辉侄女的。

“陈德使”：你是谁人姊妹呢？ 是陈从辉妹子。

你是那一年从教？ 是从小从教的。

実際の尋問と記録との間にどの程度の形式上の乖離があるのかは定かではないが、「二十九」と「三十三」の尋問の時間差や段階差が、質問の仕方の違いに関係している可能性がある。質問内容には明らかな違いがあり、「二十九」では初めて行われる尋問として初歩的で基本的な情報が短く区切られた問い方で行われているのに対し、「三十三」では、「二十九」の供述で得られた情報をもとに質問内容がより具体的になっていると考えられる。

また、「三十一」には“陈从辉”に対する尋問が収められており、そこに次のようにある。

9) 彼らは信者ではなかったため、質問事項も他と異なっていたと考えられる。

那守童贞的女人陈富使、陈德使是女什么人呢？富使是小的侄女，德使是小的妹子。

この情報が、「三十三」では、「陈从辉」に対する次の尋問に対する供述の中で触れられている。

从前西洋人在福安行教，已经奉禁驱逐，教堂也拆毁了，你怎么不法，又招德黄正国、施黄正国在家设堂行教，实在替他招集过多少人？你家里造有地窖、复壁，做什么呢？这西洋人德黄正国原住在寡妇繆喜使家里，因是雍正八年间，德黄正国来替已故族人陈福寅医治病症，小的才和他熟识。他说起要在小的家里居住，小的原有从教，故此就留他的。乾隆三年西洋人施黄正国也来小的家里居住行教，小的原有对人家说他天主教好处，从教的有几百人，彼时妻子林结使、妹子陈德使、侄女陈富使、嫂子繆侍使都有从教，小的恐怕人知道，故此设有地窖、复壁，好藏匿就是。

下線部に関して、「三十三」では事前にその人物の存在を知るための尋問と供述はないが、「三十一」の尋問と供述があれば、唐突な情報提示とはならない。

同じ案件をめぐる尋問と供述は、独立してバラバラに存在していたのではなく、共有され、矛盾なく繋がっているべきものであり、「三十三」の尋問にせよ供述にせよ、「三十一」の尋問と供述を踏まえたものだったのだろう。

五 まとめ

福安教案の中国人への尋問と供述には、年齢や氏名、居住地、信仰年数などの基本的な情報に関して、どのような言語が用いられているかを確認した。

供述者によって自称が異なっている、という点をまずは指摘することができる。

品詞レベルでの語彙の使用状況からは、豊富であるとはいえず、尋問も供述も少ない語彙で済まされていることがわかる。

いっぽうで、語彙は限定的、固定的であっても、尋ね方には質問事項ごとに大なり小なりばらつきがあり、ただ機械的に判で押したようなかのように決められた表現で尋問をしていたわけではなかったらしいということがわかる。

この点を踏まえると、尋問と供述を記すための言葉は、語彙は限定的固定的であり、その範囲の中で固定された表現には捉われていなかった、と見なすことができるだろう。

[付記]

本研究は、JSPS 科学研究費 JP17K02757の助成を受けたものです。